

家業の事業承継をサポートする講義

関西大学商学部では家業の事業承継を支援する講義を開講しています。



講義の様子① 平安伸鋼工業(株)の竹内香予子社長

活動の概要

目的	実家が事業を営む学生が、きちんと家業に向き合うことを支援する活動を正課授業の中で行う
連携メンバーおよび役割	大阪産業創造館チーフプロデューサー 山野千枝氏…講義内容の構成、講師のコーディネート、ディスカッションの司会、講師 関西大学商学部教授 荒木孝治…講義における各種サポート 講師(企業の経営者)…家業を実際に承継した経験者が、講師として実践的な講義を提供 受講学生…講義において積極的にディスカッションに参加する中で、今後の自身の事業承継について熟慮する。
活動地域	関西大学千里山キャンパス
活動期間	2014年4月～(継続中)
費用	関西大学による負担

連携の経緯

関西大学商学部は、大阪産業創造館(大阪府大阪市中央区)と従来より連携してきた。その中で、他大学(関西学院大学、甲南大学)で行っている事業承継に関する講義を関西大学でも実施しないかという提案があった。事業承継は古くて新しい課題であるとともに、これに関する保護者・学生からの悩みを教育懇談会等で聞いていたこともあり、関西大学独自(内容および講師)の形で実施できるよう調整し、開講に至った。

解決すべき課題

- (1) 学生が抱える事業承継の問題
- (2) 学生の保護者が抱える事業承継の問題
- (3) 日本の産業を支える中小企業における事業承継の問題



講義の様子② 最終回のグループ写真

現場の声

- ・山野千枝氏(大阪産業創造館 チーフプロデューサー)
実際に家業を継いだ現役経営者とのディスカッションを通して、ファミリービジネスがもたらす企業存続力やベンチャー型事業承継に関する受講生の理解が深まっている。
- ・受講生
この講義を受講することにより、父母の仕事に対する考えにふれる機会を今まで以上に多く持つことができた。
今まで家業に関心はなかったが、家業があることのありがたさや可能性、それを次世代に承継する必要性に気づくことができた。
将来、この講義に戻ってきて、次世代の後継者たちへ講義できる日が来るといいなと思っている。
受講前は、家業を手伝い感覚で手伝っていたが、受講後は、自分の会社という目で見えるようになった。

大学の役割

2014年春季期より講義「ビジネス研究(次世代の後継者のための経営学)」を開講している(商学部学生は第7類科目、他学部学生は全学共通科目)。コーディネーターは大阪産業創造館の山野千枝氏で、講義内容の検討および企業人講師の選定、講師をお願いしている。40歳代の現役経営者を講師として招き、実践的な内容での講義を提供している。講師は全員、業種は様々であるものの自らが家業を承継した経験者である。40歳代としているのは、大学卒業後の約20年後に受講生も事業承継に直面する可能性が高いと想定しているからである。本講義は、実家が家業を営む学生を受講生とし、彼らが将来家業を承継するかどうかの決断に直面するときによりよい意思決定ができることを目的としている。

講義では、事業承継の本質とは何か、後継者のキャリアデザインのあり方、新規事業への進出や業態転換の難しさ、創業者と後継者との関係のあり方、老舗だからこそ必要な革新等テーマを幅広く取り上げ、実践的な内容としている。講義だけではなく、毎回、充実したディスカッションを行なうことができる少人数でのゼミ形式で推進している。また、ライフラインによる過去の振り返り実習など、学生にとって今後の生き方の指針を得る手助けにもなる工夫を行っている。

成果

- (1) 毎年、各種メディアにより記事として取り上げられている
- (2) facebookにより受講生・講師間の情報の共有のみならず、受講生OBを含めて交流をはかっている
- (3) 受講生が毎回提出するレポートより、VOC (Voice of Customer) を確認。毎回のレポートから受講生により評価されている(上記、「現場の声」参照)。また、本講義を継続してほしいという声も多い。
- (4) 受講生より、「将来家業を承継する」という声が多くなった

今後の展望

- (1) ディスカッションをさらに充実させるため、中小企業の承継に強い関心を持つ学生を受講対象とする
- (2) 他学部からの受講生受け入れの拡大(2016年度は、法・経・商・社・理工系学部の学生が受講)

研究者の紹介



商学部 教授
荒木 孝治
(あらき たかはる)

専門は統計学・品質管理。ゼミでは過去に2回、山崎製パン株式会社とともに関大ランチパックの開発を行った。現在、エキマルシェ大阪やものづくり系企業、理工系学部との共同プロジェクトをゼミ生とともに推進している。



大阪産業創造館
チーフプロデューサー
山野 千枝
(やまの ちえ)

大阪産業創造館は大阪市経済戦略局の中小企業支援拠点。同館発行情報紙「Bplatz press」編集長を兼任。事業承継をテーマに大学で教鞭をとっている。日本のものづくりを担う若手採用応援プロジェクトである「現場男子」のプロデューサー。